# プログラミング演習2課題 補足資料

第5週:連結リスト

## 練習課題5-1

#### AddressDataクラス

- ●Point2Dクラス(練習課題2-7)などを参考にすればよい
- ●変更点は
  - ●問題文に示される通りの4つのフィールド変数を準備する
  - ●コンストラクタを、フィールド変数を初期化するように変更する
  - ●printメソッドも、指定されたフォーマットで表示するように変更する

### **練習課題**5-2 Cell**クラス**

- ●第3週講義資料 pp. 28-29、教科書p.107を参考に
- ●ひな型は、p.29に示されている
  - ●p.29の例では、MyDataクラスをデータとして保持
  - ●今回作りたいのは、 作成したAddressDataクラスをデータとして保持するクラスなので そこを変更する

#### 練習課題5-3 Addressクラス

- ●第3週講義資料 pp. 30-31を参考に
- ●ひな型は、LinkedListクラスとして示されている
  - ●p.42も参考に、変数sizeを用意しておくとよい

## 練習課題5-4,5-5 insertFirst, deleteFirst, displayListメソッド

- ●第3週講義資料 pp. 32-37に実装例が示されている
- LinkedListクラスとしての例なので、 Addressクラスへの対応のみ行えばOK

#### 練習課題5-1,2,3,4,5 動作確認プログラムの例

●以下のようなプログラムで動作確認をすること

```
Address address = new Address();
AddressData data = null;
// 連結リストヘデータを追加
data = new AddressData("名前1", "なまえ1","0001","name1");
address.insertFirst(data);
data = new AddressData("名前2", "なまえ2","0002","name2");
address.insertFirst(data);
data = new AddressData("名前3", "なまえ3","0003","name3");
address.insertFirst(data);
address.displayList(); // 連結リストの表示
System.out.println("-----");
data = address.deleteFirst(); // リスト先頭からデータを削除
address.displayList(); // 連結リストの表示
System.out.println("-----");
data.print(); // AddressDataクラスのprintメソッドの確認と
           // deleteFirstメソッドの返り値の確認
```

#### 以下のような 出力が得られればOK

Name: 名前3 Kana: なまえ3 Phone: 0003 Mail: name3 Name: 名前2 Kana: なまえ2 Phone: 0002 Mail: name2 Name: 名前1 Kana: なまえ1 Phone: 0001 Mail: name1

-----

Name: 名前2 Kana: なまえ2 Phone: 0002 Mail: name2 Name: 名前1 Kana: なまえ1 Phone: 0001 Mail: name1

-----

Name: 名前3 Kana: なまえ3 Phone: 0003 Mail: name3

## 必須課題5-6 getAddressDataメソッド

- ●第3週講義資料 pp. 44-45を参考に
- ●ひな型はp.45に示されている
  - ●このひな形を利用する場合には、 リストのサイズを記録するsize変数の値を 適切に変更しておくこと(pp.42-43を参考に)
  - ●current変数を、該当する要素を指すように移動している
    - ●まずheaderを代入して、先頭を指し、 その後、for文内でcurrent.nextを指していくことで、該当要素へ移動

#### 必須課題5-6 動作確認プログラムの例

●練習課題5-1,2,3,4,5の動作確認プログラムに 以下を追加して確認すること

```
:
// ここまで練習課題5-1,2,3,4,5の動作確認プログラム
System.out.println("-- 5-6 --");
data = address.getAddressData(2);
data.print();
```

#### 以下のような 出力が得られればOK

-- 5-6 --

Name: 名前1

Kana: なまえ1

Phone : 0001

Mail: name1

### 必須課題5-7 insertメソッド

- ●第3週講義資料 pp. 46-47を参考に
- ●処理の流れは、p.47に示されているので、 これにのっとって実装すればよい
  - ●先頭にデータを挿入の場合は簡単. insertFirstメソッドを使うだけ
- ●先頭以外の場合
  - ●1.「挿入する場所の1つ前の要素(A)を見つける」は、 必須課題5-6と同様にすればよい
  - ●2.「新たな要素(B)を作成」は、新たにCellのインスタンスを作成
  - 3.と4.については、その順序が重要(B)のnextが、(A)が元々指していたnext(C)を指すように変更した後、(A)のnextが(B)を指すように変更しなければいけない(p.46参考)

#### 必須課題5-7 動作確認プログラムの例

●必須課題5-6の動作確認プログラムに 以下を追加して確認すること

```
//ここまで必須課題5-6の動作確認プログラム
Boolean result;
AddressData newdata = null;
System.out.println("-- 5-7 --");
newdata = new AddressData("名前5","なまえ5","0010","name5");
result = address.insert(newdata, 2);
                                  5 を入力した場合も
if(result==true)
                                    確認しておくこと
 System.out.println("insert 成功");
                                   (追加に失敗する)
else
 System.out.println("insert 失敗");
address.displayList(); // 連結リストの表示
```

#### 以下のような 出力が得られればOK

-- 5-7 -insert 成功 Name: 名前2 Kana: なまえ2 Phone: 0002 Mail: name2 Name: 名前5 Kana: なまえ5 Phone: 0010 Mail: name5 Name: 名前1 Kana: なまえ1 Phone: 0001

Mail: name1

#### 必須課題5-8 deleteメソッド

- ●第3週講義資料 pp. 48-49を参考に
- ●処理の流れは、p.49に示されているので、 これにのっとって実装すればよい
  - ●先頭のデータを削除の場合は簡単. deleteFirstメソッドを使うだけ
- ●先頭以外の場合
  - ●ステップ1は、必須課題5-6と同様(p-1番目の要素を取得)
  - ●ステップ2は、p番目の要素を取得(=p-1番目の次)
  - ●ステップ3と4は、その順序が重要(p.48も参考に)

#### 必須課題5-8 動作確認プログラムの例

●必須課題5-7の動作確認プログラムに 以下を追加して確認すること

```
:
//ここまで必須課題5-7の動作確認プログラム

System.out.println("-- 5-8 --");
data = address.delete(3);
address.displayList(); // 削除後リストの表示
if(data==null)

System.out.println("delete 失敗");
else{
System.out.println("delete 成功");
data.print();
}
```

以下のような 出力が得られればOK

-- 5-8 --

Name:名前2

Kana: なまえ2

Phone: 0002

Mail: name2

Name: 名前5

Kana: なまえ5

Phone: 0010

Mail: name5

delete 成功

Name: 名前1

Kana: なまえ1

Phone: 0001

Mail: name1